

「ハレルヤ！神を賛美しよう」

詩編 150 編 1-6 節

2020.4.26

●アウトライン

1. 賛美する共同体としての教会

- ・キリスト教礼拝の最大の魅力のひとつは「歌う」こと。

2. 賛美とは何か。

- ・ウェストミンスター小教理問答問 1 に基づく賛美の定義

①神の栄光をたたえることとしての賛美

- ・栄光とは、神の「輝き、ほまれ、偉大さ、素晴らしさ」のこと
- ・人ではなく、神に向けて歌われる歌としての賛美
- ・なぜ神の栄光をたたえるのか。

②永遠に神を喜ぶこととしての賛美

- ・なぜ賛美は喜ばしいのか。二つの理由。
- ・ある神学者の言葉「神を喜ぶとは、満足と喜びをもって、善である神に従い、神の中に安らうことである」
- ・悲しみの時にこそ、賛美の歌を歌おう。

●カテキズムの言葉（キリスト教の教えの要約）

【ウェストミンスター小教理問答】

問 1 人間の主要な目的は何ですか。

答 人間の主要な目的は、神の栄光をたたえ、永遠に神を喜ぶことです。

●聖書箇所

【詩編 102 編 19 節 旧約聖書 939 ページ】

「後の世代のために／このことは書き記されねばならない。『主を賛美するために民は創造された。』」

【詩編 147 編 1-3 節 旧約聖書 987 ページ】

「ハレルヤ。わたしたちの神をほめ歌うのはいかに喜ばしく／神への賛美はいかに美しく
快いことか。主はエルサレムを再建し／イスラエルの追いやられた人々を集めてくださる。
打ち砕かれた心の人々を癒し／その傷を包んでくださる。」